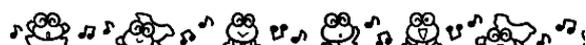


子どもたちの心にたくさんのことを

届けてくれた“かこさとし”さん



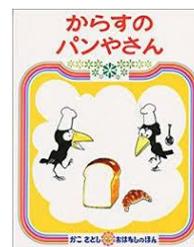
先日、絵本の“だるまちゃん”シリーズや“からすのパンやさん”シリーズ、“どろぼうがっこう”など、子どもたちが大好きな作品を描いてきた、加古里子（かこさとし）さんが亡くなりました。とても残念ですが、心よりご冥福を祈ります。

戦争を経験してきた加古さんは、仲間たちを戦争で亡くしたことから、「世の中は偉い学者さんも優秀な専門家も大勢いるのに、なぜ戦争が起きる前に止める方法が見つからないのでしょうか。戦争がいかに悲惨かを伝える本はありますが、悲惨な戦争を始める前になんとか治める方法を、僕自身も知りたい。昭和20年、僕は戦争で死ぬはずだった生命を残してもらった。自分の判断力のなさや勉強不足を猛烈に反省し、次の世代を生きる子どもたちが、僕と同じ過ちを二度と繰り返さないように、自分の『余命』を使おうと考え」科学メーカーで働く傍ら、セツルメント活動や絵本の創作を開始したと語っています。

その、創作意欲や、作品は多岐にわたり、科学・生命・食・環境など様々な分野での作品（「かわ」「歯のはなし」「骨のはなし」「宇宙」等々たくさんあります）も数多く出されています。改めて、かこさんの作品を読んでみたいと思っています。（作品は下に紹介している本の中に“こんなにも書いているの!?”と驚くほど掲載されています）

また、原発問題に関しても、自ら仕事で、原子炉で使う材料を作っていた知識もあり、原発を「エネルギー効率が悪く、産業として成り立たない」「事故を考えれば決して安くない」「温水が出て環境によくない」と断じ、後世に原発から出る高レベル放射能廃棄物を残すことに異を唱えていました。

子どもたちにたくさんの貴重な財産を残してくださった、加古里子さん、ありがとうございました。



6月10日（日）はどんぐりまつり（バザー）です

公費収入ではまかないきれない財源をみんなで力をあわせて作りだし、子どもたちに充実した保育を行うためのバザーです。このお祭りを通して父母・職員同士の交流・親睦も図っている楽しい取り組みです。現在、実行委員会が準備を進めています。当日は、準備や片付けも含め、楽しくバザーを盛り上げて行けるようご協力よろしくお願いします。

/// 読んでみませんか /// 「ちっちゃな科学」 かこさとし+福岡伸一・著



本書の帯には、「90歳の人気絵本作家と、生命を探求するハカセが『真の賢さ』を考察する。科学絵本や里山など、子どもを伸ばすヒントが満載」とあります。本の中では「子どもの好奇心は無限大!」として、大人が子どもの可能性の芽を摘んではいけない、おとなの役割は大切。「寄り道」を楽しみ、その中で新たな発見がある。など、加古さんと福岡伸一さんとの対談や、加古さんの作品の紹介や福岡ハカセのお勧めの本なども詰まっています。お得な1冊です。